

「Creation, Innovation, and Globalization—知の創造, 技の革新, そして世界へ」をメインテーマに、グローバリゼーション時代の放射線医学を展望

4月11日(木)～14日(日), パシフィコ横浜を会場に, JRC2013が開催された。メインテーマは, 「Creation, Innovation, and Globalization—知の創造, 技の革新, そして世界へ」。かねてから国際化が進む JRC であるが, 今回は口演スライドや CyPos の英語表記はもとより英語口演の増加など, グローバリゼーション時代を展望させる 4日間となった。

ITEM ブースレポートなど JRC の話題はインナビネットで!

グローバリゼーション時代の JRC

JRC 2013 では, 第 72 回日本医学放射線学会総会 (JRS) 会長が本田 浩氏, 第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会 (JSRT) 大会長が杜下淳次氏, 第 105 回日本医学物理学会学術大会 (JSMP) 大会長が豊福不可依氏と, すべて九州大学が務めた。

JRC は近年, 国際化を大きなテーマに掲げて, RSNA をはじめとする海外の学会との関係を深めるとともに, 海外セッションの充実化などに取り組んできた。JRC 2012 では, ARRS や ESR との正式交流を記念して Collaboration Session が企画された。今回は, 海外交流講演として, 14 の演題がプログラムされ, ゲストスピーカーによる発表が行われたほか, Honorary Member Awarding Ceremony (名誉会員授賞式) も行われた。2日目の12日に行われた合同開会式において, JRC 代表理事の杉村和朗氏は, 「JRC が世界 3 極の 1 つとして, 新しい領域で世界に発信し, 医療に貢献していきたい」と述べ, グローバリゼーション時代の JRC のあり方を訴えた。

JRC の国際化の一方, 日本人の研究者, 臨床家の海外での活躍も注目される。合同開会式の後は, 合同特別講演: New Horizons Lecture として, 米国立がん研究所 (NCI) / 米国立衛生研究所 (NIH) 分子イメージングプログラム主任研究員の小林久隆氏が, 「がんの分子イメージングはがん細胞特異治療へと進化する “Molecular Cancer Imaging Can

Evolve to a Cancer-cell Specific Therapy”」をテーマに講演を行った。

また, 13日には, 合同特別企画「Global Human Resource Development: グローバル人育成に向けて」が用意され, 医学部, 産業, 学会, 海外進出における取り組みや体験が報告された。

モダリティの技術革新にも注目

今回のメインテーマには, 「知の創造, 技の革新」が盛り込まれているが, 期間中, モダリティの技術革新を取り上げるプログラムも多く組まれた。12日の合同シンポジウム 1「Clinical Applications and Future Prospects for Evolving Imaging Modalities: 進化する画像モダリティとその臨床応用および今後の展望」では, CT, MRI の最新技術についての発表があった。また, 13日には, 合同シンポジウム 2「Computer-aided Diagnosis: コンピュータ支援診断」が行われた。14日の合同シンポジウム 3「Innovative Technologies in Medical Physics: 医学物理におけるイノベティブテクノロジー」では, X線位相イメージングや陽子線治療における PET イメージングといった, 現在開発が進められている新しい技術について, その第一人者たちが最新動向を紹介した。

3学会ともに参加者数が前年を上回る

このほか, 3学会の会長, 大会長が九州大学所属ということもあり, 13日には福岡ソフトバンクホークス球団取締役会長の王 貞治氏による特別講演 2が行われた。この特別講演は, 「野球が教え



JRC 2013 合同開会式



Honorary Member Awarding Ceremony

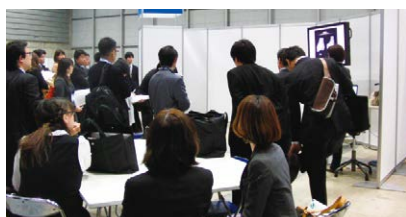
てくれたもの」と題して, JRS の本田会長も交えて座談会形式での進行となった。

4日間にわたる JRC 2013 では, 第 72 回日本医学放射線学会総会と第 69 回日本放射線技術学会総会学術大会が 3%, 第 105 回日本医学物理学会学術大会が 10%, 前年の参加者を上回った。また, 12～14日の3日間行われた 2013 国際医用画像総合展 (ITEM in JRC 2013) には 2万 1559 人が来場した。

◎

JRC 2014 は, 4月 10～13日の4日間, パシフィコ横浜会議センターを会場に, ITEM 2014 は 11～13日の3日間, パシフィコ横浜展示ホールにて開催される。メインテーマは, 「向き合う, つながる, そして広がる—face to face, face to community, and face to the world」。第 73 回日本医学放射線学会総会会長は金澤 右氏 (岡山大学大学院), 第 70 回日本放射線技術学会総会学術大会大会長は江口陽一氏 (山形大学医学部附属病院), 第 107 回日本医学物理学会学術大会大会長は福士昌弘氏 (首都大学東京大学院) が務める。

● 2013年6月号は JRC 2013 特集です。ご期待ください。



活気を見せる CyPos 会場



王 貞治氏による特別講演 2